

認定介護福祉士養成研修

科目『認知症のある人への生活支援・連携』事前課題No. 1

【事前課題の内容】

「ひもときシート」を用いて自職場の事例に対する思考の整理を行う。

【事前課題のねらい】

「ひもときシート」を用いて、認知症のある人等の言動からその背景要因をひもとき、思考の転換と思考の展開を図る。それにより、認知症のある人等の視点に立った分析的理解につなげていく。

【事前課題の方法】

<事前提出するもの> ワークシート（ひもときシート様式）

※ 1部提出 + コピー（1部）を各自講義当日に持参すること。

＜留意事項＞

- ・特定の人物を1名設定し、テキストP172～181とひもときねっと！>ひもときシートを使ってみよう (dcnet.gr.jp)を参考にして、ワークシート内にある項目を埋めてみてください。（特定の人物についてすでに得られている情報を整理すればよい）
- ・個人情報の取り扱いには、十分留意して下さい。
- ・ワークシートへの記入は、1事例の一部分だけがまいません。
- ・事例は個人情報が特定できないように、修正加工してください。
- ・事例は研修の中で教材として使用し、研修参加者等と共有されますのであらかじめご了承ください。

【事前課題の提出期限】 令和7年7月4日（金）

* 認知症ケアに関わっていない受講生もいますので、認知症のない人の事例を用いても構いません。ただし今回の事前課題は、認知症の有無に関わらずその人本位の視点（パーソンセンタードケア）を踏まえた思考を整理することをねらいとしています。ファーストステップ研修科目「コミュニケーション技術の応用的な展開（認知症）」で学んだ内容を踏まえ、今回の認定介護福祉士養成研修科目「認知症のある人への生活支援・連携」においてより深く学ぶことになります。その点に留意して課題に取り組んでください。